

ご報告

全国団地景観サミット2010 UR賃貸住宅『団地景観フォト&スケッチコンテスト』審査結果

今年で3回目を迎える「全国団地景観サミット」は、人のふれあいや彩りのあるUR賃貸住宅の風景が、全国のみなさんからの応募によって一同に会するコンテストです。今回は総計686作品の応募があり、写真やスケッチそのものだけでなく、作品タイトルや応募者メッセージも含めたひとつの作品として、総合的に評価した結果、60作品を選出作品として決定しました。

いずれの応募作品からも、団地の中で育まれてきた「コミュニティ」や愛すべき団地景観への想いが感じられるものでした。たくさんのご応募、ありがとうございました。

ここでは、作品の一部をご紹介します。

力作揃いの入選作品は、ホームページをご覧ください。

UR サミット で **検索** してください。
<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/>



来年も「全国団地景観サミット2011」を開催します！

団地を舞台にした暮らしやコミュニティ活動、団地が見せる美しい景観など、四季折々の「写真・スケッチ」(予定)作品のご応募をお願いします。詳しくはホームページに今後掲載予定です。

フォト大賞



「ふるさと」 佐藤 勝紀 様 平城第二(奈良県)

〈応募者メッセージ〉

盆踊りの輪が広がる大きな感星群から少し離れた暗闇にぼかりと浮かんだ小宇宙の明かり。詩的な風情を感じさせる濃密な空間は毎年ここに現れる。いつもの顔ぶれがいるいつもの場所なのに、いつもとちがうように感じる。お祭りの本質が根付いているこの団地はふるさとの貴様十分である。

スケッチ大賞



「初夏の昼下り」 小沢 節子 様 吉川(埼玉県)

〈応募者メッセージ〉

母が逝ってから私の寂しさを二三分の所に娘家族が住んでいることがどれだけ癒してくれてるでせう。毎週水曜日はお昼を一緒にとってます。おしゃべりしながら私の手料理を食べさせる楽しさ又娘が作ったものを食べる幸せ。バルコで娘が出かけるころにぶつかる偶然にもまあまりました。行ってらっしゃい。理想的な生活環境。

団地×コミュニティ部門 最優秀賞

「団地の子供たち」

浅井 誠章 様 辻堂(神奈川県)

〈応募者メッセージ〉

夏休み、団地で遊んでいた子供たちにお願いで撮らせてもらった一枚。同じ団地の子たちという彼らは笑顔いっぱいとても楽しく夏休みを過ごしているようでした。きっとこの夏もたくさんのおいしい思い出を団地の仲間たちとつくったことでしょう。この絆をずっと大事にしてほしいです。

団地×ランドスケープ部門 最優秀賞

「春の嵐のあとで」

黒坂 拓 様 新山下ベイシティ(神奈川県)

〈応募者メッセージ〉

この日、テレビのニュースでは春の嵐の影響で交通機関がマヒしたニュースを盛んに報じていました。同じ頃、新山下周辺では雲の合間から太陽の光が射しこみ、嵐が収束に向かって静かに伝えていました。幸い、山手見晴らし公園の桜はほとんど散ることが無く、その後も私たち住民の目を楽しませてくれました。

ご案内

携帯電話からUR賃貸住宅の情報検索ができます

UR都市機構では、2010年6月より携帯サイトをオープンしています。

携帯サイトでは、UR賃貸住宅のご案内(個人のお客様向け)やお申込方法などの各種インフォメーションのほか、開催中のキャンペーンなどの新着情報もお届けしています。サイトには、下記のQRコード、またはURL入力によりアクセスいただけます。

今後も新しいコンテンツを追加予定ですので、UR都市機構の携帯サイトにぜひアクセスしてみてください。



〈アクセス方法〉

① QRコードからのアクセス方法

QRコードを認識できる携帯電話をお持ちの方は右のQRコードからアクセスしてください。



② URL入力によるアクセス方法

URL入力欄に以下のアドレスを入力してアクセスしてください。

<http://m.ur-net.go.jp>

※携帯キャリアは、docomo、au、SoftBank のみ対応しております。



キッズ大賞

「セミ団地」

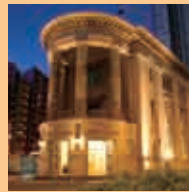
道田 西 様 下大利(福岡県)

〈応募者メッセージ〉

どこにでも負けないぐらいのセミの数。ふつうは、5~6ピキ。でもこの団地は10~20。はしからはしまでセミすくし。自まんのセミの木です。



Cover Photo



ヨコハマ創造都市センター(神奈川県横浜市)
UR都市機構本社のある横浜アイランドタワーの低層部。1929年竣工の旧第一銀行横浜支店、その後の横浜銀行本店別館を移築した横浜市認定の歴史的建造物。

編集後記

11月13日からの2日間、APEC首脳会議が横浜みなとみらい21地区で開催されました。会議期間中は会議関係者やメディア関係者が、国内はもとより世界各国からここ横浜の地に集まりました。お客様に対するおもてなしの心を、国際都市横浜の大きな魅力として国内外に発信することが出来たのではないのでしょうか。

今号では、市民の大きな期待を集めて就任された、林文子横浜市長にご登場いただきました。同じく横浜市民でもある聞き手の渡辺真理さんとの対談は、横浜を想うお二人の気持ちがあふれたものでしたが、誌面からも皆様に伝わっていると幸いです。

今年も早いもので師走になりました。UR都市機構では、右ページでご紹介したコンテストでカレンダー賞として選ばれた作品から、2011年のカレンダーを制作しました。部数に限りはございますが、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

今後とも、UR都市機構に変わらぬご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

季刊「ユアールプレス・秋号」
Vol.25(2010年12月)

発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中央区本町6-50-1
横浜アイランドタワー
Tel. 045-650-0881
Fax. 045-650-0889

編集・制作 (株)日本経済社
印刷 (株)ぎょうせい